



# NETWORK VOL.142

# TERRA



今年も桜が咲きました

## 「命、輝かせる」

今回の東日本大震災で失われた尊い命を悼み謹んで哀悼の意をささげると共に被災されたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

東日本大震災の惨状に何もできない自分に心が痛む。寄付もした。支援物資も送った。あとは、何を？ がんばれ、と励ます？

阪神大震災のとき一番もらって困ったものは、がんばってくださいといわれてもらった千羽鶴。どうにもならなくて、捨てられない。中越沖地震のとき一番辛かったのは、がんばれって言われること。充分がんばってるのに、まだがんばれって言うのか、もう限界だ。私たちは当事者にはなれない。被災者の方々の気持ちにはなれない。想像するだけだ

そんな時、今回の被災者からの私たちへのメッセージを新聞で見た。「私たちは他人の喜びをねたむほど落ちぶれてはいません。皆さんどうぞ我慢せずに楽しいときは笑い、うれしいときは喜んでください。私たちも一日も早く皆さんに追いつきます。」

そうなんだ、こんなときだからこそ、私たち自身が元気であり、そして日々一生懸命生きることに、そして私たちの命を輝かせることが大切なんだ。

そして、悲しみを想像するのではなく、私たちの元気を被災地へ届けることが重要なのだ。

これは、古賀 武夫が映画「人間の翼」を作ったときのメッセージだったではないか。私たちはずっと前から同じ事を言っていたではないか。やり方はいろいろあるはずだ。佐賀では「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」が始まっている。

深い爪あとを残した東日本の被災地にも菜の花が咲き、桜の花が咲いている。

## CONTENTS ■ 2011 春

古賀武夫先生の言葉を辿る  
敬天愛人 ―一隅より、世を照らさん― Vol.4  
『人間の持つべき文明』

大野 博之 2

### ■地球市民の会

和顔愛語 佐藤 昭二 3

東日本大震災復興支援基金を募集します 4

そーしそーあい大作戦 5

ミャンマー通信 6~7

ぱーん・たわん通信 8~9

日韓未来交流2011in釜山 10

協力者一覧& 1万人プロジェクト経過報告 11

### ■夢の学校をつくる会

夢タマの思い出 12~13

### ■和道流古賀道場

道場通信 14

### ■古賀英語道場

英語的思考のススメ Vol.4 15

### ■共同執筆

4~6月のお知らせ 16





▲ '92/11/22 経団連1%クラブにて講演  
(東京経団連会館)

# 敬天愛人

—一隅より、世を照らさん—

Vol.4

## 『人間の持つべき文明』

大野 博之

今号は「古賀武夫ブックレット 第三号」敬天愛人—一隅より、世を照らさん—から、古賀先生の一九九二年(平成四年)の言葉を辿っています。この年の五月十七日の総会では記念シンポジウム「人間の持つべき文明」を開催し、『TERRAアピール』を採択しました。

『TERRAアピール』とは、六月三日から十四日にかけてブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された「環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット)」に対して、地球市民の会が全世界に向けて発表した独自のアピールでした。内容は序文と本文五項目で構成されています。

序文では、地球的課題(人口問題、貧困問題、環境問題)は、集中(都市化)、巨大化、規格化(効率化)、機械化(便利さの追求)が大量生産→大量消費→大量破壊→大量生産↓という循環を生み出してしまったことに端緒があり、その原因となったのが『過剰開発』という、人間至上主義、経済最優先の欲望中心の文明に陥ってしまっていることだと分析しています。したがって、価値観の転換を図り文明の方向そのものを変えなければ社会を保つことはできないとしています。

その方法として、「対症療法よりむしろ根本治療が必要になる。それは、人間の生物としての原点・素に立ち返ることからはじめれば可能である。したがって分散、小規模化、多様化を目指す、その行き着く先は自立自給、自給自足の小規模複合農を核とした生活形態になる」と提言しています。自らが食べるもの、生きていくための『農』を中心とした相互扶助の中でお陰様の生活、「ありがたう」の生活が中心の社会を目指さなければならぬという提言だったと思います。

そして本文五項目は少し解説を入れながら再掲いたします。

一、進歩・発展・開発について  
科学や経済の発展には、宗教、哲学、道徳の裏付けがなければならない。経済や科学最優先の「開発と環境の保全(持続的開発)」は本来自己矛盾である。われわれは価値観を根本的に転換し、進歩、発展の尺度を精神的なものへと昇華させていかなければならない。

↓宗教、哲学、道徳の最大公約数が「すべ

ての生命を幸せにできる人間になる。」と仮定した場合、技術も知識も知恵も経済もお金もそれは、すべての生命を幸せにするための手段であり、自分だけが幸せになるためのもではない。開発そのものの基準をこの点に置き換えれば、原子力発電所はふるさとを捨てねばならないほど多くの生命を不幸にしてしまったのだから、開発の対象としては不適切なものであったのではないのでしょうか。

### 二、地球について

言うまでもなく、人間は地球上の生命の一種に過ぎない。そして、地球はすべての生命の共有財産である。我々は人間中心主義の驕りを捨て、すべての生命と共生しなければならぬ。

↓『人権』は人の権利だが、なんで人間だけにあるのか? 旧約聖書では人間が神との契約で授けられたものだといわれているが、それが根拠だろう。しかし、すべての生き物が神によって創造された中で、人間が万物の霊長と呼ばれる理由はすべての生き物の命を守る役割を与えられたからだ。そうであれば、人間だけに権利があるのではなく、犬の権利「犬権」やミズミズの権利「ミズミズ権」があり、これらの権利を守る権利こそが人間の権利である。」という事をおっしゃっていました。すべての生命に対する慈しみを持つという事は、自らが地球上の生命の一種に過ぎないという事を知ることと同じことなのでしょう。

### 三、人間と生命について

個体の命は個体のものであらず、宇宙生命体の一環である。我々はこの世のすべてはぶつ続きであることを理解しなければならぬ。

↓古賀先生はガーナの海岸で不思議な体験をされたと話していました。大西洋から寄せられた波がガーナの海岸の岩にぶち当たり、小さな水滴になって一瞬で広がり、そしてそれがまたひとつの波となり大西洋に戻っていく。当たり前のことですが、そのとき古賀先生は小さな水滴が自分自身だと悟ったとおっしゃっています。つまり大西洋という大きな大きな塊の一部分から生まれてきた自分は小さな小さな飛沫、これは今生での自分の人生となり、ほんの一瞬輝き、死んだあとまた、大きな塊の中に帰っていく。この大きな固まりがすべての生命を内含する宇宙生命

体ともいえませんが、他方、小さな水滴は、水滴であることを理解せず、自分は一人でもできるのだという驕りに似た誤解を持ったまま生きている一人ひとりの人間であるという喩えとも言えるのではないのでしょうか。

### 四、地球環境と精神(霊性)について

現在の環境破壊はまさに目を覆わんばかりであるが、地球環境よりはるかに危機的状態にあるのは、文明の発達の中で、自然、宇宙とつながりを忘れた我々そのものであり、その根っこである精神(霊性)であることを十分に自覚しなければならぬ。

↓古賀先生がいつも忘れてはならないこととして霊性を話されていました。「日本では人間は脳(知識)と心(感情)の二つで人間が構成されているように一般的に思われている。英語で言うところの「ブレイン」と「マインド」だが、ヨーロッパではここに「スピリチュアル」が入ってくる。日本語では「精神」または「霊性」なのだが、日本人の感覚でいうと「肚(はら)」だろう。「腑に落ちる」とか「肚が据わる」などがそれだ。つまり、知識や感情で説明しなくても理解できるのが「肚」であり、別の表現をすれば「品格」であったり「道徳・倫理」だ。自然、宇宙とつながりを理解できるのが「肚」「霊性」なのだが、それを忘れてしまっている。今や、地球の問題はすべて自分の生き方の問題である。」

### 五、文明について

人間は本来無一物。我々は本来(本来の自然:素朴、寡)に戻らなければならぬ。本来の文明、即ち地球の平和であり、我々の幸福である。

↓「人間は本来無一物」は古賀先生のいつも口にされていた言葉です。過剰な我欲に囚われているのはこの事を理解していないからだ。ここから脱するために必要なことは、「生きていくだけで丸儲け、生まれてきたこと自体がすでに奇跡であるのなら、もうすでに幸せ」であることを肚の底から思い、他人の喜びを自分の幸せと感じられるようになることなのだ、という事を説明されていました。

未曾有の大震災にある私たちは十九年前のこのアピールをもう一度深く考えれば、復興の手がかりがまた浮かび上がってくるような気がします。

# 和顔愛語



佐藤 昭二

## 文福茶釜の世は来たり

この度の大地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

表題の「文福茶釜の世は来たり」は、ちょうど今から35年前、奈良の吉野の奥吉野に有る天川というところで修行をしていたところに教えられた言葉です。

誰から？ それは大いなるもの、と言うか、または天からと言うか…。私は、これは神示だったと思っています。なぜなら手が勝手に動き出して書き出したものだったからです。

そのとき出て来た言葉というのが、次の様なものなのです。

「文福茶釜の世は来たり、乞食が大臣に、大臣が乞食になる時が来た、それはあたかも木の葉が沈んで石が流れる如きである」と、その後が続いたのが、「あらゆる大手企業が、銀行が、病院が、学校がつぶれて行くだろう。」そして最後に、「生き残れるのは2割か…」と云う内容のものでした。

35年前に知らされたこの内容は、ちょうど高度経済成長の真ただ中にある時でしたので、自分自身でもとても信じられる事ではありませんでした。せいぜい「文福茶釜だから狸の化けの皮が剥がれる時が来たのだろう」ぐらいにしか思っていませんでした。

しかし、その後になって、あらゆる企業、銀行、病院、学校、が倒産して行くのを見た時これは、「あの時教えられた事は本当の事だ」と自覚したのです。しかし最後の「生き残れるのは2割か」と云う神示が大変気になって居たのですが、あまりにも恐ろしい事なので他人には出来るだけ話さない様にして来ましたが、数年前から親しい人、縁にふれた人にはこの話をして来しました。当会の会報ネットワークテラに2009年冬号に寄稿した「神の算盤」もこの事の一部を、形を変えて掲載したものでした。

私が25年前阿蘇の南外輪山に越して来た本当の意味はこの問題に取り組むためでした。自然界は突出を嫌います。私たちの社会生活に於いても表の権利の裏には義務が有り、陰と陽、数えれば限が無いほど表裏の

組み合わせで成り立って居りますが、全てバランスが取れて調和しているのです。今このバランスが崩れて来ているのです。これが突出です。私たちは表の便利さを享受する時、裏の陰の働きを知らねばなりません。御蔭様とはまさにこの事です。

例えば科学の世界においても大変な進歩です、しかし自然の摂理の中で科学を捉えようとする心が追いついていけない状態にあることが問題なのです。目覚しい進歩という技術一辺倒の表の突出が続いた時、自然界はこれを嫌い自然の摂理の中で是正し始めます。

大自然界そのものを神というのならば、まさに神は調和を保つために突出したものを「ご破算で願いましたは…」という段階に入ったといえます。今回の大震災で被災された方々の苦難や悲しみは彼らだけのものではなく、被災を受けることのなかった私たちに対する戒めであり、私たちに原因があったものを私たちの代わりに受けていただいたのだと気付かなければなりません。

私たちの身体は大自然つまり大宇宙と同じ営みで運動しています。海辺に打ち寄せる波の数は、1分間におよそ18です。18の2倍の数は36で、これはおよそ人間の体温です。36の2倍の数は72で、これはおよそ人間の脈拍数です。72の2倍の数は144で、これは少し高めですが人間の血圧に近い値です。144の2倍の数は288で、これはおよそ赤ちゃんがお腹にいる日数です。このことも関係はないとは思えません。だから、私たちの身体は小宇宙であり、社会も小宇宙であるといえます。したがって大宇宙のリズムから逸脱した時、個人で有れば身体に、複数で有れば家庭に、団体で有れば社会に、そして国にと知らせが出て来ます。これは知識では解決できません。大自然界からの智慧でなければ解決しないのです。私たちは、この大宇宙である大自然界に合わせた「心の学び」をする時が来たのです。

私達がこの自然界の法則を受けて明日に向かう時こそこの震災で亡くなった方達へのご供養が届く時と思います。

合掌。

～義援金から支援金へ～

# 東日本大震災復興活動支援基金を募集します



## 見える気持ちプロジェクト

寄付していただいた方の「気持ち」が見えるようにするため、支援金としてお金が何に使われ、どのような効果がでて、現地の方にどれだけ役に立ち喜ばれたかが分かるプロジェクトです。

今回の東日本大震災で失われた尊い命を悼み謹んで哀悼の意をささげると共に被災されたすべてのの方々に心からお見舞いを申し上げます。

九州にある私たち地球市民の会は、いよいよ惨状の深さを露呈して来た被災地に対してまだ直接何もすることができていませんでした。そのため、私たち自身が募金を集めたりするという事も憚れていました。しかし、被災地の状態が緊急段階から復興段階へと支援体制が移行することで当会も新たな活動ができるのではないかと考え、「元気を送ろうキャンペーン」に参加していこうと決定しました。

基本コンセプトは「元気と祈りを届けるプロジェクト」です。実施する事は、被災された方に必要な支援をするために現地で活動するNPO/NGOを応援し、被災者の方一人一人に寄り添う長期的な活動をおこなうことから始め、来るべき時期に実際にボランティアの派遣を行います。

## 活動内容 (案)



- 現地活動支援募金を集める
- 被災地のNPO/NGOを支援する
- 被災地へボランティアを派遣する



## 第一弾活動

### 支援金のお願い

ご寄付いただきました資金は地球市民の会のホームページをはじめ、メルリングリスト、会報等で、募金が何に使われ、どのような効果がでて、現地の方にどれだけ役に立ったかをお伝えいたします。

寄付という形の「自分の思い」がどのように伝わったかをお知りになりたいとお思いの方には是非「支援金」でご協力いただければと存じます。



よろしくお願ひします

### 支援先

認定NPO法人国際ボランティアセンター山形「東北広域NGOセンター」

### 支援活動内容

リクエストのあった支援物資の調達費、炊き出しの材料費、燃料費、道具のレンタル代、ディーゼル代等の資金といたします。

皆さまの温かいお気持ちが、皆さまにご確認いただけますように支援内容の詳細をレポートし、寄付していただいた方々に報告させていただきます。

認定NPO法人の当会への支援金は税法上の優遇措置があります。控除用の領収書をお送りいたします。

## ◆ ◆ 募 金 送 先 ◆ ◆

### ◆郵便振替

口座番号：01790-3-26351  
加入者：特定非営利活動法人地球市民の会  
通信欄に「東日本大震災」とご記入ください。

### ◆銀行振込み

佐賀銀行 本店営業部 普通預金 3018910  
特定非営利活動法人 地球市民の会 (トクヒ) チキュウシミンノカイ

\* 銀行振込の場合は振込者が解りませんのでメールか電話で事務局まで必ずご一報ください。

Tel 0952-24-3334

E-mail eguchi@tpa.nk-i.net

# そーし・そーあい大作戦

昨年より佐賀県佐賀市の3校区が各ペアの佐賀市内中山間地の集落でそれぞれ自然体験を行いました。  
今回は3集落、3校区合同のムツゴロウ広場でイベントを行いました。

## まちまつり

日程：平成23年1月23日（日）

時間：13:30～16:00

場所：ムツゴロウ広場

参加者数：約150名

プログラム：

1. 校区の参加者子どもによるお世話になった集落のプレゼン
2. しし汁&野菜販売
3. もちつき
4. 佐賀県に関するクイズ（富士町と三瀬農産物プレゼント）
5. 抽選会（富士町と三瀬農産物プレゼント）

校区の子どもたちは、もちつきを初めてした子どもも多く、初体験ながら楽しんでやっていました！



地産地消応援しています



発表会の様子



もちつき

今回は、行政・NPOの様々な団体との協働によって実現できました！  
山間部での自然体験活動はNPO法人夢の学校をつくる会との協働により地域の資源を最大限に活用した活動になり参加者親子の満足度が高かった。  
「佐賀市役所農業振興課、ユマニテさが」  
イベントの広報協力による集客力がアップした。イベント場所の提供をいただいた。  
集落と校区がつながり、再度交流を望む声が多かった。

●今回のイベントを一過性で終わらせることなく、今後は佐賀市富士町と三瀬の集落と佐賀市内の校区の継続的な交流を地球市民の会がコーディネートをしていきます。



# ミャンマー通信

ミンガラバー！ミャンマー事業を担当し1年が経ち、少しずつミャンマー語も覚えつつあります。今回は、現在行っている主な事業の紹介をさせていただきます。レポートは現地へ赴任して5ヶ月の鈴木あかりと、3月スタッフでミャンマーに行ってきた私フジセです。

## 環境破壊が進むインレー湖 環境保全事業

### 絶景・インレー湖を守れ！

インレー湖は、ミャンマーでも3本の指に入る観光地。とてもきれいな景色の湖です。昨年「世界の果てまでイッテQ」というTV番組でとりあげられたので、ご覧になった人もいるかもしれませんね。両側を山に囲まれた大きな湖で、ボートで観光するととっても気持ち良いですよ！

そのインレー湖、実は環境破壊でピンチな状態です。

- ・新にするために周辺の山の木を切ってしまう、ハゲ山から土砂が湖に流れ込んでくる。
- ・生活排水をそのまま流しこぶため、富栄養化が進んでいる。
- ・浮畑で野菜を栽培しているが、農薬や化学肥料を大量に使っているため、農薬がそのまま湖に溶け込んでしまう。(巷では、ミャンマーに入ってくる農薬が4トンだとしたら3トンはインレー湖のトマト栽培に使われている、と噂されるほど！)

そんなこんなで、湖が毎年小さく、水位も浅くなってきているのです。数年前までは水が上がってきっていた水田に、今年には水が来ないというところもたくさんあります。魚の種類も減少しています。

湖の富栄養化でホテイアオイなどの水草が繁茂してしまい、船が通航できない場所も！

とっても汚くて臭い場所もあります。せっかくのインレー湖がそんなことになってしまうなんて…。

ということで、TPAは地球環境基金から助成をいただき、佐賀大学農学部と協力して「インレー湖環境改善プロジェクト」をやっています。その名も

「インレー湖流域の自然資源利活用による環境改善プロジェクト～持続可能な循環型社会を目指して～」(長い!!)

簡単に言うと、こういう内容。

- 1) 村の人たちの協力により、ハゲ山に木を植え、土砂が流れ込むのを防ぐ
- 2) 村に木の苗を育てるナーサリーと、ナーサリーのための水環境を整備し、村の人たち自身で木を毎年植えられる環境をつくる。
- 3) 木を植える大切さを理解してもらおうワークショップを行う。
- 4) 繁茂した水草を利用した堆肥の作り方を教え、化学肥料の使用量を減らせるようにする。

ということで、本年度は6か村で15425本の植林をし、循環型農業や環境について学ぶ研修やセミナーも計31回実施しました！中には、この事業の意義が分からず、ある村で行ったセミナーに人が集まらなかったこともありましたが、「なぜ日本の人がお金を出してくれたのか」、「木を植えることが大切なのか」熱弁をふるい、理解を広げていきました。研修を行った学校では、来年植える苗木を育てるなど子ども達も一緒にプロジェクトが進んでいます。



インレー湖の浮畑。小船に乗って農作業をする。トマトが特産。

## 道路建設中!?

外務省日本NGO無償資金協力（ODA）事業でただいま道路を建設中です！

先日モニタリングに行かせていただきましたが、車で通ったらタイヤがはずれるんじゃないかと思うくらいヒドイ道です！デッコボッコの道を通る車中では、体が飛んだり跳ねたり…この道、雨季にはさらに状態が悪く、雨水がたまりとても通行できません。

この道があるマジーピン村では、重傷・重病患者が出た際や、妊婦の異常分娩の際は、2マイル離れた病院に連れていかなければなりません。この道の状況では搬送にも困難を要します。搬送中に亡くなった方は2004年から2009年までの5年間で104名にのぼりました。

また子どもの通学にも大きな問題が。道が悪いせいで登校できない児童もあり、退学する子どもの65%が通学の困難さを理由として挙げています。(まさにTPAが坂井さんのご協力を得て建設したガナインシェー小学校もこの道の先にある！)

この状況を改善するため、TPAは6.4マイルにかけアスファルトの道路を敷設中です。5月には完成予定とのこと。

敷設後は道路が通る10カ村が基金を集め、それぞれ村の区域ごとに責任をもってメンテナンスを行います。村では率先して、出来上がる前から1年目の基金を集めているとのこと。また建設後は大きなトラックが道を荒らさないよう見張るとか…

道路建設なんて「つくって終わり…」の事業にならないか心配でしたが、地球市民の会らしい、みんなの心が集まった事業になりつつあります。

## 未開の地・レーエインゴン村

2011年度もこの事業は継続するのですが、今年度の事業計画を進める中、昨年度メインで事業を行っていたインレー湖周辺のマインタク村で、「どうやら木を切っているのは、マインタク村の人たちではなく、上にあるレーエインゴン村の人たちらしい…」ということを知り、調査に出かけました。マインタクより山を登ること30分。そこに、レーエインゴン村があります。



3月スタッフメンバー、レーエインゴン村のみなさんと。突然の訪問にもかかわらず温かく迎えてもらい、お茶をごちそうになりました。

レーエインゴン北村とレーエインゴン南村、世帯数はあわせて28世帯。山の木を燃やして畑を作り、ハトマメ、お茶、トウモロコシ、ウコンなどを育てて生活しています。

レーエインゴン村まで車が通れる道はなく、徒歩で登るしか方法はないとのこと。けっこう骨の折れる坂道で、かなり疲れました…。乾季はいいけれど、雨季になると、道はぐちゃぐちゃになってしまうでしょう。生活に必要なものを買うにも、乾季で片道30分の道を歩いてマインタク村まで降りていかなければなりません。重いものを買っても、持って上げられません！家の柱とか、セメントとか、一体どうやって運んだらう…と思います。そんな不便な立地で、一番困るのが教育です。村には小学校がなく、学校に通うためには子どもたちはマインタク村まで行かなければなりません。毎日あの山道を通うのは、低学年の子にとってはかなりハード。

マインタク小学校に行くと先生に聞くと、レーエインゴンの子は通ってくるだけで疲れてしまい、授業中に眠ってしまう子が多いとのこと。 (実際、一人居眠りしている子がいて、レーエインゴン村の子でもでした)。

居眠りならまだしも、ぜんぜん出席できない子どももよくいるそうです。一生懸命通ったとしても、せいぜい小学校の4年間まで。レーエインゴン村には小学校卒業の人はいますが、中学校卒業の人は一人もいないとのこと。

マインタク村には高校まであるので、小学校に通えれば、物理的には高校までは行けるはずなのですが…。

さらに驚いたのが、レーエインゴン村の結婚年齢。13・14歳くらいで結婚してしまうそうです。早すぎないか！？

水汲みも大変なようで、1マイルくらい歩いて水源まで汲みにいかなければなりません。私たちも水源を見に行きましたが、水源への道は狭くて足元が悪く、私は1回こけて、1回は足を踏み外して転げ落ちそうになりました…。これ、雨季だったら考えると怖いです。レーエインゴン村は、今までに見たことがないくらいの「未開の地」という感じで、私は大変驚きました。そして、こういう村こそ外国のNGOの支援が必要になってくると思うのですが、交通の便が悪いためにNGOの支援サイトからは外されてしまうようです。インレー湖の観光客が多く来る地域では、TPA、セグナーなどの日本のNGOや、セーブ・ザ・チルドレンなどの欧米系NGO、UNDPやWFPなどの国連系から小さな個人ドナー…と、いろいろな団体が支援している村もたくさんあります。でも、レーエインゴンは全くのゼロ。ふむ…。



山奥の水源から帰ってきた子ども達に遭遇。洗濯も水あびも村に1つの水源で。

ということで、レーエインゴン村の人たちと相談し、TPAはレーエインゴンでプロジェクトを行うことに決めました。プランは以下のとおりです。

インレー湖の環境保全のため、村に木を植えてもらいます。しかし、普通の木を植えるとなると、村の人たちの大事な畑が無くなって困ってしまうので、アボガドやお茶などの収入となりやすい木を植えます。いわゆる、「アグロフォレストリー」です。等高線に沿ってラインで木を植えていきます。そうすれば、土砂がインレー湖に流入することが防げるはず。

そして、しっかり木が育つよう、給水設備も作ります。今の水源からパイプで水を引いてきて、水タンクを設置します。植林のために使うのがメインですが、余った分は生活用水として利用しても良いというプランです。

事業実施は4月より。インレー湖の環境のためにも、レーエインゴン村のためにも、今年は過酷な山登りを決意するミャンマー事務所スタッフなのでした！

### \* こぼれ話 \* (フジセ)

3月のスタッフで私たちも30~40分かけてレーエインゴン村に登りました。最初と最後に心臓破りの坂道があり、村に到着するまで休憩は3回。もうヘトヘト（ミャンマー語でホヘホヘ）しかし、聞いてみるとTPA現地スタッフたちはこれを平気な顔して登るそう。「こんなの休憩するヒマもないうちに登っちゃうよ」と。さすが！！自分の運動不足を思い知りますね…。



# ぼん・たわん通信

チャリティーショップ

タイの子ども達の教育環境改善を目指して、ご寄付頂いた婦人服・子ども服の販売を行っています。  
屋号のぼん・たわんは、タイ語で『太陽の家』の意味。世界中の人が太陽のように温かい心を持って、ひとつ屋根の下で暮らすことができるようにと願いを込めています。

## 1年間活動報告

### 寄付品倉庫完成（4月）

廃品業の小松商店さんに、寄付品の倉庫を設置。みるみるうちにいっぱい。（嬉しい嘆きですが）たくさん届けられる寄付品の仕分けが追いつかず…より多くのボランティアさんの力が必要です★

### 新聞に登場

新聞広告。6ヶ月間、新聞に登場しましたがお気付きでしたか？新聞を見て…と、これまで地球市民の会を知らなかったという方からもお問合せがつつぎと、『持っているものがタイの子ども達の為になるなら…』と。コラム欄の有明抄でも『できることをはじめよう』と活動が紹介されました。

### ボランティア参加

セミナーやイベントを通して、少しずつボランティアの輪が広がっています。寄付品を整理したり、値段をつけたり、イベントに出店したり…学生や主婦の方々、まだまだ少ない人数ですが、一人ひとりが、社会のなかでの役割を感じながら、楽しく活動をしています。

### タイ支援地視察（11月）

『支援地ってどんなところ？』『何の為に活動をしているの？』支援地であるタイ東北部イサーン地方を10名で訪問。彼らの生活を見聞き体験し、『キラキラ輝く子ども達の笑顔』に出会い、佐賀で活動を頑張っていくこうと気持ちを新たにしました。

### 鳥栖店にも OPEN しました♪（2月）

ニューポーン鳥栖店2階にぼん・たわん2号店 OPEN。鳥栖の皆さん、ぜひお買い物にお出かけくださいませ♪

### 先進地視察（2月）

パナソニック NPO サポートファンドからの支援により立上げが決定。チャリティーショップ初心者のわたし達は、先進地であるセカンドハンドさん& WE21 ジャパンさんを視察。寄付品募集方法、値段のつけ方、レイアウト、活動の伝え方等を伝授してもらった。

### プレスリリース（5月）

佐賀の皆さんに活動のスタートを宣言。活動を通して、使い捨ての時代から物を大切にする意識づくり、みんなの幸せを願える思いやりの心を育むことを目標に。

### 売場設置（6月）

6月21日、佐賀市開成のニューポーン佐賀店内に売場を開設。可愛い子ども服、ブランドのカバン、ワンピースなどなど素敵な商品と共に、タイの子ども達のキラキラ笑顔が並ぶ。

### 企業と協働の拡大

佐賀の地元企業さんに力を発揮してもらっています★損保ジャパン佐賀コールセンターさんは、寄付品募集キャンペーンを秋・春2回実施。札幌・中野コールセンターでも、取組みを紹介。ぼん・たわんも、佐賀から全国へ飛び出しました。

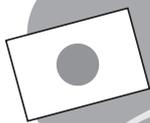
### パナソニック NPO サポートファンド報告会出席（2月）

今回、チャリティーショップ立上げに助成を頂いたパナソニック NPO サポートファンド。1年間の事業期間を終え、パナソニックさんに対して活動報告を行いました。『市民の皆さん、企業さんへと活動が広がっている』ことを評価して頂きました。

### 冬フェス、まちまつり、市民活動まつり…へと続々進出

佐賀の地域のお祭りで、ぼん・たわん出張出店。サイズや種類も色々なので、フリマ感覚で楽しんで頂けたのでは？と思っています。出張用のタペストリーも用意し、写真でタイ支援地の紹介も。次は、どこに出没するか…？お楽しみに★





# 日韓未来交流2011in釜山



期間:2011年1月14日(金)~16日(日)

## 参加者

山口副会長、西村一守理事、山東保育園村上園長、大野事務局長、事務局員(3名)で釜山韓日文化交流協会へ今後の協働での取り組みについて話し合い&農村視察に行きました。

この時期の釜山は非常に寒く、夜は-10℃になるところもあり、日中でも0度に近い気温でした。また、私たちが訪れた場所は日本語の看板が多く、日本人観光客を相手にお店をしているところもたくさんありました。

## 1日目

釜山韓日文化交流協会にて、山口副会長の話しの中に現代社会にはたくさん問題があり、これらの問題をビジネスの手法を用いて解決する方法の取り組み事例の話や、昨年の夏に行われた日韓青少年交流事業「新かちがらす」の報告も行われました。

昨年の「新かちがらす」は地球市民の会と協働事業でより深い交流事業ができたことと好評価をいただきました。

古賀武夫さんと親交が深い朴会長はお仕事から戻られた後、冬に行う日韓交流事業の提案もありました。日本からも学生が韓国へ田舎体験に行く内容です。

今年も夏の「新かちがらす」、韓国で冬の青少年交流事業等を一緒に行いましょう!と今後も協働で事業を実施していくことで会議は終わりました。



## 2日目

### 慶州良洞(ヤンドン)村

韓国の釜山近郊で地域づくりを実施している村を視察しました。

韓国の伝統的な村をそのまま保存し、一つの村をテーマパーク化している。村民が実際にその村に住みながら運営をし、観光客は儒教伝統文化や礼儀作法などが体験できる村です。



慶州良洞(ヤンドン)村

### 洗心(セシン)村

慶州市の農村体験村。同じく村民が運営をして農業体験等やアウトドアの体験ができる。

私たちが視察した時は、冬場であったため、もちつきや凍った湖でスキーなどが行われていました。訪問される方々の中には海外観光客(日本人修学旅行生)などが訪れている。



洗心(セシン)村 視察

日本では少子高齢化の問題が顕在化しており、様々な取り組みが行政・市民レベルで行われています。韓国も日本と全く同じ少子高齢化の道をたどっています。悩みも「後継者不足」「高齢化」など全く同じ問題でした。現在、韓国では行政主導の取り組みが多かったように思いましたが、今後は市民団体などが活動をしていくのではないかと思います。

# 協力者一覧

## 正 会 員

荒川 英勝  
岩永 清邦  
江口 恵美  
加々良 エミ  
北原 壽豊  
古賀 智津子  
小松 敏正  
小柳 哲朗  
近田 真知子 (かながわ)  
堤 加奈子  
徳光 清孝  
戸田 玲子  
中村 元  
中本 正一  
夏秋 葉子  
野口 翔平  
原 利幸  
原 陽子  
福井 文一郎  
藤瀬 伸恵  
古川 昌宏  
古川 康  
古川 ことと  
牧瀬 弓子  
宮地 信文  
本村 満江  
百生 詩緒子  
矢代 久美子  
山下 博史・定美

## 購 読 会 員

岡本 千恵子

## 学 生 会 員

中山 康平

## 賛 助 会 員

柳 浩輔  
鶴田 雅俊

## 書き損じハガキ・古切手

神野町郵便局  
有田社会福祉協議会  
本村 幸代  
七田 たけし  
脊振小学校  
御厨 初美  
徳島建設 徳島政敏  
懶副島金物 古川清文  
懶農協観光 佐賀支店  
井上 祥代  
諸富中学校  
円城寺 久好  
鍋島幼稚園  
富野 ともえ  
池田 サチ子  
立花 美奈  
満岡医院  
三井生命  
春日北小学校  
鏡中学校生徒会  
打上小学校  
鬼塚小学校ボランティア委員会  
佐賀北高通信制

## 寄 付 金

今村 京一  
貝通丸 直子  
山下 雄司  
NPO日本ミャンマー豊友会  
本庄小6年2組  
三瀬 恵美  
エコポイント事務局  
楠本 トヨミ  
本村 喜代  
虹 好明  
(有)ニューポーン新古賀  
百生 詩緒子  
熊本 由美子  
佐賀大学SHAREARTH  
奈良崎 裕美  
中溝 澄子

## ミャンマータンポジーサポーター

唐澤 利夫  
御厨 初美  
白井 空  
平野 喜幸

## ボーゲウ校

池田 サチ子  
石川 祥子  
稲葉 田鶴子  
江口 はる美  
亀井 一恵  
田中 亜矢  
寺戸 純子  
戸田 玲子  
西村 賢二  
納江 幸利  
平岩 佳名子  
福井 文一郎  
寶泉 正美  
松瀬 直美  
松林 久美子  
吉井 学  
吉田 史郎  
吉田 純子  
愛野 良治

## クーキャオ高校

青柳 光美  
内山 治郎  
江頭 泰子  
円城寺 久好  
大塚 寿美雄  
大野 博之  
加藤 由紀子  
北村 尚道  
古賀 大之  
小松 重輝  
佐々木 佳寿子  
千住 友二  
西山 峰次

江内 幸利  
野直 直穂美  
祓川 清美  
松枝 和代  
松林 久美子  
の野 直喜  
森永 勝馬  
吉田 英隆

## クーキャオ中学

阿部 礼子  
池田 サチ子  
板垣 道代  
井上 弘子  
内山 治郎  
浦郷 めぐみ  
江頭 泰子  
江口 恵美  
江口 典子  
榎田 智津子  
円城寺 久好  
大野 圭子  
岡 大雅  
緒方 あかね  
貝通丸 直子  
木下 博和  
倉富 博美  
古賀 由紀子  
佐藤 基一  
白井 憲一  
千住 泉  
田久保 克明  
徳永 千恵  
中島 文子  
中村 志津香  
南里 玲子  
幸利 幸利  
野内 直穂美  
野呂 美加  
秦 智美  
馬場 佐和子  
馬場 龍之介  
原田 典子

樋口 啓子  
彌富 和枝  
川和 恵里  
平嶋 トキ子  
平野 京子  
野野 朋子  
別頭 照代  
本弓 康澄  
前田 綾子  
眞崎 健次郎  
眞子 ハマ代  
的野 直喜  
宮地 信文  
武藤 鼓  
森永 勝馬  
山口 則子  
山下 雄司  
吉田 じゅんこ  
愛野 良治  
眞藤 邦彦  
深川 明子  
中村 眞美

## ばーん・たわん

楠田 尚子  
宮崎 聖子  
本村 基代  
辻 法夫  
辻 利恵  
損害保険ジャパン  
佐賀コールセンター



※順不同で掲載させていただいております。

※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。いつも本当にありがとうございます!!

## 地球市民 感動共感



# 1万人プロジェクト経過報告

2010年12月16日～2011年3月22日の集計結果

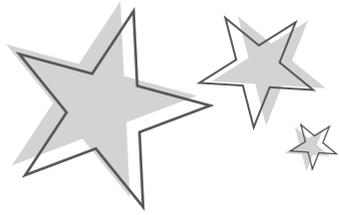
●●カードを受け取ってくださった人数：のべ6724人 ●●オリジナルグッズに交換された人数：のべ32人 ●●

この間、小学校や各種団体でお話をさせて頂く機会をたくさん頂きました。ミャンマーの子ども達にもありがとうカードを届けてきました。プロジェクト終了まで、あと約3ヶ月。引き続き、ワクワク感動のある活動を作っていきたいと思っています♪

## プリンターいただきました!

前回のネットワークテラで「プリンターが欲しい」と載せていたところ、早速会員さまより「ずっと使っていないから…」と新品のプリンターを寄付いただきました。大事に使わせていただきます。ありがとうございました!

～事務局員一同～ m(\_ \_)m



# 夢タマの思い出

夢の学校タマテ箱は小学1年生から4年生まで（夢の学校カリキュラム前期）を対象とした通年の放課後プログラムです。この3月で終了を迎えた子ども達とその保護者の皆さんの言葉をご紹介します。

## ♣ 中谷 仁 ♣

1年生の時から夢タマに入っているいろいろなことをしました。それは書道、華道、アロマ、空手、おやつ作り、夏祭り、おとまり会、キャンプです。こんなにやるのがあって大変だなと思いました。でも、それぞれよかったことがありました。書道はカレンダーを作ることが、華道は先生にほめられること、アロマは香りあてクイズで多くのグループが全問正解で優勝したこと、空手は昇級しんさで合格したこと、おやつ作りはつくることが楽しいこと、夏祭りはみんなで楽しくできること、おとまり会は買い物に行ったり温泉に入ったりできること、キャンプはいろいろな場所に行けることです。

みなさんに一言。みなさん、学年が一つあがったら自分より下の学年の人に教えてあげて、学年が下の方は上の方の話をちゃんと聞いて夢タマをよくしていきましょう。



## ♡ 古賀 日和 ♡

私は保育園の年長から入って初めはとてもきんちょうしてどきどきしていましたが、毎日夢タマに通っているうちにだんだんきんちょうがほぐれてきて、夢タマに行くのが楽しくなってきました。かある先生とはたさとみ先生でほうか後には、私を見てくださり本当に感しゃしています。

1年になって初めて勉強を知り、わくわくしました。それから4年、もうすぐ5年生です。その間にはいろいろな思い出がありました。英語げき・夏祭り・相良さんがきかくしてくれたキャンプなど楽しい思い出がいっぱいです。英語げきは先生たちがいっしょうけんめいに作ってくださいました。夏祭りでも夢タマみんなで何を出すか決めました。お客さんもいっぱい来てくださいました。うれしかったです。私の4年間にはこのような楽しい思い出がいっぱいでした。私は、もう来なくなるけど今の3年生が新しく4年生としてがんばってもらいたいです。

～夢タマのみんなへメッセージ～

「私はもう夢タマには来ないけど、みんなで力を合わせ協力してこれからをがんばってください。今までいっしょに遊んでくれてありがとうございました。」

## ♠ 仁比 渉太 ♠

ほくは、1年のころからはじめました。はじめのころは何をすることがわからなかったけど、華道や書道などいろいろなことが学べていいじゆくだと思います。夏休み、夏祭りのヨーヨーを作ったことがとても心に残りました。最初は作りづらかったけどなれてきて、楽しい夏祭りになりました。4年生までしか通えないのは残念だけど夢タマに通えてよかったです。すごく楽しかったです。

最後に夢タマの人に一言。三年生はみんなをひっぱってがんばってください。二年生は三年生の手伝いをがんばってください。一年生は新しく入る人にいろいろなことを教えてください。

## ◆ 牛山 悠 ◆

ゆめたま、あんまりいけなかったけどみんな元気にあふれて、楽しかったです。ちっちゃくてかわいい！そしてけっこうやさしい！足がすばしっこい！！楽しい！！メツチャ気が合う！！おもしろい！！とゆうかんじでやっぱり楽しかったです！！

みんなへ。みんなは元気いっぱい、楽しくておもしろくて、ときにはこわかったり、やさしかったり…！ゆめたまにウチが入ったのは1年生。あまりの元気のよさにちょっとビビってた。けどなれたらメツチャ楽しかった～的な  
そしてみなさん 本当にありがとうございました

武ちゃん語録

“できる”と思った瞬間、不可能はなくなる。

♡ 古賀 章 (保護者) ♡

夢の学校タマテ箱との出会い

娘が保育園卒園の頃、小学校入学後、放課後をいかに過ごせるだろうかと思いつつ、学童保育の場を探していました。そんな時、兄の子どもが通う夢の学校タマテ箱（以下、夢学）と出会いました。初めて訪れた日、築数十年は経っているだろう二階建ての木造家屋。中に入ると、とても親しみのあるどこにでもあるような家庭の雰囲気。子ども達がいる奥の部屋のドアを開けた途端、子ども同士がぞうぐいすの真っ最中。と、思いきやよく見たら先生と子どもでした。ほかんとなった私と薫先生のこれが初めての出会いでした。

夢の学校に通っているとここに集うみんなが家族に思えてならない。

子ども達と共に一生懸命遊び、一生懸命学ぶ先生達の姿、宿題は勿論、論語を楽しそうにみんなで読み、色々な国の方達が出入りするこの場で、諸外国の言葉、食べ物、習慣などを自然に受け入れ、外遊びの日はどうもこになって思いっきり遊び、みんなで育てたお野菜を収穫、家に持ち帰りいただき、武道の日は心と技を磨き、アロマテラピーで香りと癒し、中林梧竹の書を習い漢字の原点を学び、きまりない思い思いの創意工夫で何の抵抗もなく華を生ける、おにぎりをはじめ、みんなで作るおやつ、夏休みはキャンプに川遊び、クリスマスは英語劇にパーティ、冬休みはみんなで大掃除、もちつき、お屠蘇づくり……挙げだしたらきりがありません。

夢学は一人一人の居場所があり、それぞれが自分でやる、自分がやるという自覚を持って望んでいる。強制的にやらされることのない分、自分に返ってくることを自然に学ぶ。私自身も子育てで悩む度、励まされ元気付けられました。その度に前向きな気持ちになれました。子ども達と共に歩み、見守っていただき本当にありがとうございました。

◆ 牛山 佳子 (保護者) ◆

一年生の夏休みからお世話になりました。大勢の兄弟姉妹とダンボールで基地を作ったり、一本橋を渡った先の畑で野菜を作ったり、学校でも経験しない、貴重な体験をいっぱいさせていただきました。料理を習ってきたら家庭で早速作ってくれますし、お花の日は「空間が…」とか言いながら貰ってきたお花をいけて玄関にかざっています。仲間と過ごしたこの時間が大人になった時、きっと役に立つと思います。

吉村先生、相良さん、のりちゃん、秦先生、そして古賀英語道場、地球市民の会の皆様、大変お世話になりました。これからも、ちょくちょく遊びに伺うと思います。よろしくお願い申し上げます。

♣ 中谷 摂子 (保護者) ♣

児童センター活動発表会。英語劇祭よりも広いステージにぶっつけ本番なんて緊張しないかな？と心配するのは、親だけ。さすが夢タマさん達！堂々と楽しんでいるのでした。どんな時でも「どうぞ～やってごらん。」と励ましてくれた先生の言葉やみんなと過ごした貴重な時間のおかげでこれからも「どんなことにもチャレンジできる人」として成長していけることなのでしょう。あっという間の四年間。卒業だなんてさみしくてしかたありませんが、ほんとうにお世話になりました。有難うございました。

♠ 仁比 久代 (保護者) ♠

一年の時、大きく重いランドセルを背負い夢の学校で元気に勉強して、いっぱい遊んで家に帰るとご飯中にウトウトしていました。あれから四年間自分探しのため、家にも経験出来ないダンボールの秘密基地作り、空手、アロマ、華道、書道、料理、畑での野菜作り、英語劇…数々の楽しい思い出が出来ました。たくさんの仲間達との体験や経験を活かし、これから先に役立てて欲しいと思います。たくさんの宝物をどうもありがとう!!

トピックス

★1月15日(土)の教育シリーズ6「みっちゃん先生のいのちの授業」では、県内外からの参加者約80名が、満岡医師の講演を道しるべに「よく生きること」を考えました。わかっていると思うことでも、改めて自分の心に問うてみることの大切さを感じたひと時でした。会場には1,500枚の夢ハンカチが飾られ、プログラム後半ではドリームアーティスト大志さんによる映像と音楽を使ったワークも行なわれました。

★ソロプチミスト佐賀有明様より今後数年間支援金を頂くことになり、2月21日(月)に贈呈式が行なわれました。ご支援に感謝し、プログラムの一層の充実に努めます。

★3月12日(土)のオープンタマテ箱2011では、6人の子ども達が家族と一緒に夢の学校タマテ箱を一日体験。空手、アロマ、マイ箸作り、おにぎりの試食会という時間割で楽しく過ごしてくれました。夢学の4年生が受付、案内、おにぎり作りを担当しました。楽しいプログラムを作って頂いたおかしらの皆さん、ありがとうございました。

夢の学校をつくる会 1～3月のご協賛者

池田愛美様 内田裕二様 ソロプチミスト佐賀有明様

# 和道流空手道古賀道場 平成23年度スタート!!

新年度がスタートしました。新しい環境で新年度をスタートしたみなさんも慣れるまでは何かと忙しく、落ち着かない日々が続くことでしょう。和道流古賀道場も新年度を迎え、昨年よりも盛り上がった1年にするぞ!!と意気込んでおります。



## 道場通信

和道流  
古賀道場

### ◆和道流空手道古賀道場 23年度クラス紹介

#### 1. 通常クラス

4歳児から大人まで明るく、楽しく、元気良く空手を学び人生に必要な基礎的な体力と心を養っております。

稽古日 月曜～金曜日 17:00～19:40  
土曜日 15:00～18:00  
日曜日 10:00～12:00  
受講料 5,500円/月 (入門料 10,000円)



#### 2. 大人のお楽しみクラス

日々の生活で疲れた心をリフレッシュ!! 適度な運動と気持ちがいい汗をかいて明日の活力に!!

大学生・社会人のみなさん、一緒に楽しみましょう!!

稽古日 火曜・金曜日 20:30～22:00  
受講料 3,500円/月 (入門料 10,000円)

#### 4. 女性に優しい空手エクササイズクラス

空手の基本動作を使ったエクササイズクラス。空手の動作は有酸素運動なので、シェイプアップには最適です。ゆっくりで、激しい運度はないので、無理なく続けられますよ。

稽古日 火曜・木曜  
11:00～12:00  
受講料 3,000円/月  
(入門料 不要・空手衣購入不要)



#### 3. 幼児・新1年生クラス 幼稚園・保育園児と

新小学1年対象の空手道教室です。  
楽しみながら武道に触れてもらえるクラスです。

稽古日 水曜・金曜日 16:00～16:50  
受講料 3,500円/月 (入門料 10,000円)

さあ、新年度!! 新しいことに挑戦する絶好の季節です!! みなさんも古賀道場で刺激のある毎日をおくりませんか?

### 『空手道』の目的とは…?

なぜ今、空手道が全世界で盛んに行われているのか?なぜ今、武道が見直されているのか?考えられる理由をあげれば様々でしょう。ただ言えるのは、『武道』としての空手道は目的を達成する為の『手段』であり、それ以下でもそれ以上でもないと考えます。

古賀英語道場では、英語を自分の生き方の可能性を広げる道具として使えるようになることを目的としています。

空手道場で教える『武道』としての空手道は決して道具にはなり得ません。空手を道具として使ったら「オオゴト」ですよ。怪我人が出ます。空手道は人を傷つけることを目的とした『手段』で使うことを硬く禁じられています。

ここ数年、テレビで盛り上がっている総合格闘技での空手は人々を喜ばせることを目的としたものでしょう。まさにエンターテインメントです。それを否定するつもりはありませんが、私が考える『武道』としての空手道とは目的が違います。

では、その目的とはなんなのか?それは人生において必要な基礎体力や強い心、強い精神を養う為の『手段』だと考えられます。もっと言えば、人類の平和を願う心を多く育て、世界に、そして地球に平和をもたらす手段でもあると考えます。和道流空手道には数多くの『殺人技』が存在します。それは、それは「エゲツナイ」ものもあります。そして、それを架空の相手を想定して稽古します。言わば、空手道とは殺人拳なのです。殺人拳を教える空手道が世界平和を目指すことに矛盾を感じます。しかし、修行を続けたどり着くところ、それが「相手を傷つけることなく、勝つ」、簡単に言うと「戦わずして勝つ」です。要するに「戦わない」のです。だから誰も傷つけないのです。相手と対峙した瞬間に相手に負けを覚悟させる『強さ』を修得する事こそが和道流空手道の目指すところ、『真の強さ』なのです。

和道流空手道古賀道場では、空手道の一つの『手段』として武の道、武の心を、私を始めとした指導者、そして門下生と一緒に学んで行きたいと思うところでございます。



古賀 大之揮

佐賀県「二十一世紀海外使節団」帰還！

佐賀県は二・三月に高校生や大学生を世界各国に派遣する「二十一世紀海外使節団」を開催しました。定員計三十人を大幅に上回る四二六人が応募し、現道場生である吉村哲哉君（佐賀東高校三年）と道場OBである山下雄登君（横浜国立大学一年）が厳しい選考を勝ち抜きました。高校生十人は一ヶ月をかけて世界一周、大学生二十人はアメリカ・カリフォルニア州シリコンバレーで二週間の研修を受けました。この使節団は、古川康佐賀県知事の英断で、公共事業などの投資ばかりではなく、青少年育成に投資しようという試みでした。今回の使節団のようなチャンスが巡って来た時に、道場生は世界へ羽ばたける準備を着々としていたのです。

参加者だけに限らず、元古賀英語道場講師の土井美智子さんが大学生使節団の通訳、シリコンバレーでの現地対応された方々の中西一彦さんと飯盛裕介さん（南カリフォル

ニア佐賀県人会）も古賀英語道場の関係者です。また、代表である青柳達也は高校生の事前研修の際に「世界へ雄飛する君たちへ」と言う題目の講話を行いました。

佐賀県が大隈重信記念金貨で自治体に支給されることになった三五〇〇万円という大金を、若者のグローバル人材育成に投資しようとした際に、これだけ古賀英語道場関係者が関わるのは、我々の「世界で活躍できる人材を育成する」というビジョンの賜物であります。

さらに国際化が進むと、子ども達にとって「使える英語」が必要になるのは間違いありません。佐賀の町でも外国人が増えています。日本は世界の一部であり、これからもっと世界の人々と共存し頼りながら生きてかなくてはなりません。事実上、世界の共通語である英語の必要性はますます高くなっていきます。古賀英語道場のモットーである英語を「体験する」「道具として使う」ことにより、世界の人々と繋がるのが可能になります。

古賀英語道場が描くグローバル人材教育をこれからも継続することで、佐賀県から世界を舞台に活躍できる人材がますます育っていくでしょう。

吉村哲哉君・山下雄登君は一生に一度と言える素晴らしい体験をし、人間的に成長をして帰ってきました。まさに、古賀英語道場の誇りです。



吉村哲哉君



山下雄登君

# 英語的思考の スス× vol.4

古賀英語道場代表の青柳達也による連載コラムです。英語教育とグローバル人材教育というテーマについて、色々な視点から世の中を見つめながらコメントしていきます。

# 4月～6月のお知らせ

●は地球市民の会、♥は古賀道場  
★は夢の学校の行事です

## 地球市民ネットワーク

### ●第10回通常総会

平成 23 年 5 月 28 日 土曜日	総 会	13:30 ~
場所: 佐賀市市民会館第一会議室	記念イベント	15:00 ~ 16:50
佐賀市水ヶ江 1-2-20	懇 親 会	18:00 ~
電話: 0952-24-5271		



#### 記念イベント内容(案)

東日本大震災に学ぶ私たちの生き方  
未曾有の大震災について、実際に現場を見てきた方はどう感じたのか、そして、私たちは何ができるのかを考えます。  
※現在企画中です。確定では有りません。

#### ●現地報告

現地に派遣された方、ボランティアで赴いた方に実際に目で見てきたことを報告いたします。  
自衛隊・消防・警察の方、行政職員、医療関係者、ボランティア

#### ●後方支援報告

佐賀から元気を送ろうキャンペーン、佐賀県

#### ●パネルディスカッション

報告者のパネルディスカッション

#### ●私達が学ばなければならないこと、これからしなければならないこと

会長からの提言

#### スペシャルゲストも打診中

4月末～5月初に総会の出欠案内書をお送りします。

#### ●ばーん・たわん

第2・第4火曜日 15時～ ボランティアデーを始めます♪  
寄付品募集やイベント準備、お礼状の作成などなど、皆さんの参加をお待ちしています。



★夢の学校タマテ箱  
H23 年度プログラム開始

#### ●ミャンマーツアー実施予定!

6/6(月)～6/12(日)  
参加費 180,000円(国際航空券代含む)  
詳細は事務局までお問い合わせください。

#### ★夢の学校夏タマテ箱

平成 23 年 8 月 8 日～11 日  
3泊4日 金立教育キャンプ場

#### スタッフのひとこと

### 自分が辛かったときに乗り越えられた、助けられた一言、親切

東日本では未曾有の災害で苦しむ方々がたくさんいらっしゃいます。そんな方々にできることは、たくさんはありませんが、せめて、その辛さを分かち合い、その辛さがなくなるように祈ることくらいしかありませんので、そのために思い出してみました。

#### 地球市民の会

- 大野 博之** 「なんの、これしき」という言葉。今起こっていることは最悪ではない。最悪はこれからやってくる。だから、今の辛さなんかには負けてられない。そんな自分を励ます気持ちがこの言葉です。誰かに教えてもらったのではなく、とてもキツくて、終わりそうにない状況のとき、ふと頭の中に啓示として現れた言葉です。そのあと、「なんの、ピロシキ」という言葉も出てきて、おなか为空いて、「腹減るようじゃ、まだまだ大丈夫!」と思いました。
- 岩永 清邦** 「何とかなる! 自分のペースを崩さずそのまま行け!」自分のペースを崩してまでやっていると最高のパフォーマンスが発揮できない。ただ、ペースを崩してまで必ずやらなければならないなら人に協力してもらえばいい! 人が集まれば何とかなるものだ。そのためには普段から人に感謝をし、人が喜んでくれることに精力を尽くすべき。つまりそれは恩送りであるということ。この言葉、誰に教わったかは正直よく覚えていません。しかし、ふとしたときよく頭の中に浮かんでくる言葉です。
- 藤瀬 伸恵** 「冬は必ず春となる」寒い厳しい冬も、必ず温かい希望の春になる。もがいて苦しんで、進んでも進んでも暗闇のように感じる時、それでめきと前進して、もうすぐ希望の光が見えてくるんだって気づかせてくれる言葉です。そうそう、明けない夜はないんだよって。人の温かい笑顔に支えられてきたように思います。1人じゃないと沢山の愛をもらい、感謝の気持ちから元気が湧いてきたように思います。
- 戸田 玲子** 「大変なのは、辛いのはあなただけじゃない。もっと辛く大変なひとがいる。」「明けない夜は無い。」 とても辛いことが次々と重なって、立ち直れずにいた頃、気持ちを切り替えられた言葉です。

#### 古賀英語道場・空手道場

- 古賀 大之** 「一人ではない。」「いろんな意味があると思います。」「お前は一人ではない。みんながついている。」「だっさり、辛いのはおまえ一人ではない。」「など。自分の周りには誰かいるし、苦しんでいるのも自分一人ではない。決して孤独ではないと思えると勇気が沸きますし、心強いものです。
- 古賀恵美子** 辛い事悲しい事があると、私よりももっと辛く悲しい思いをしている人がいる、と自分に言い聞かせています。誰かが悲しんでいる時に自分はどれだけの事ができるでしょう。自分の事でいっぱいにならずに手助けできる人間になりたい。そう考えてしまう今日この頃…。心からの優しい言葉に涙があふれ、その涙で辛さや悲しみが遠くへ流されていくような気がします。「東日本大震災」に私は何ができるのか…。少しずつ少しずつ考えて実行していきたいと思います。
- 青柳 達也** 大学の演技のレッスンで言われました。「Give yourself a permission.」「自分自身に許可を与える」という意味ですが、何をやるにしても自分がまずは許可を与えて肯定感を与えてあげないといけないということです。なかなか自信が持てなかった時代に励ましの言葉になりました。今でもステージに上がるまえに唱えています。

#### 夢の学校をつくる会

- 吉村 薫** いつも辛いことや悲しいことがあるたびに「これより悪いことはないだろう、もうこれが最低なのだ。だから上を向いて歩くしかないのだ。きつといいこともあるさ。」と自分に言い聞かせながら人生の道を歩いてきた気がします。「なんだ坂、こんな坂」いろいろある道を「上を向いて歩こう～」きつと一筋の光が見えるはずだから・・・
- 相良 伸武** お題とは若干ずれるかもしれませんが、体育会系の私は自分からきつことや苦しいことを好んでし、自分を苛める様な所があります。そんな時、「頑張れ!」の一言にどれだけ救われ、力が湧いてくることか。「頑張れ!」という声援を辛いと感じる人も居るようです。「なにくそ～、もう一踏ん張り!」と前向きに捉えましょう!

#### 北海道地球市民の会

〒061-3214 北海道石狩市花川北4条2-197  
会長/阿部功 事務局/新保知博  
TEL・FAX: 0133-74-1296

#### 地球市民の会ふくしま

〒963-8681 福島県郡山市喜久田町卸1丁目120-1  
榎石黒  
会長/事務局担当 石黒秀司  
TEL: 024-959-6426  
FAX: 024-959-6577

#### 地球市民の会東京

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-13  
会長/有澤正典 事務局/佐藤敏行  
TEL: 03-3662-0331  
FAX: 03-3662-0400  
E-Mail: arisawa@nun.co.jp

#### 地球市民ACTかながわ

〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203  
会長/近田真知子 事務局/伊吾田善行  
TEL・FAX: 045-622-9661  
E-Mail: port@tpak.org

#### 地球市民の会ぎふ

〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻579-1  
竹花園内  
会長/森幹治 事務局/平井八重子  
TEL: 058-391-5415  
FAX: 058-391-8600

#### 地球市民みえの会

〒514-0027 三重県津市大門7-15津センターパレス3F  
津市市民活動センター内  
会長/伊藤洋之 事務局/秋葉幸信  
TEL: 059-226-5700  
FAX: 059-224-8911  
E-Mail: miemiemiemi21@hotmail.com

#### 地球市民の会京都

〒605-0873 京都市東山区下島町484  
会長/宮川尚子 事務局/西田一貴

#### 神戸戸有頂天倶楽部

〒657-0045 神戸市灘区下河原通3丁目4-3  
会長/松元隆司 事務局/大西陽治

#### 愛媛地球市民の会

〒799-0712 愛媛県四国中央市土居町  
入野859-1  
会長/森高康行 事務局/丹生谷久宗

#### 北九州地球市民の会

〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-5-14  
中央会館2F  
会長/河野一郎 事務局/大山研児  
TEL: 093-521-8181  
FAX: 093-551-2296

#### 地球市民の会福岡

〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂2丁目30-4  
榎増屋内  
会長/増田誠司 事務局/西村和寿  
TEL: 092-801-5888  
FAX: 092-801-5789

#### (特活) コミネット協会

〒861-8039 熊本市長嶺南2丁目5-31  
会長/池永憲 事務局/富田、田中  
TEL・FAX: 096-387-7139

#### 古賀英語・空手道場

〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10  
TEL: 0952-26-2295  
FAX: 0952-26-4922

#### 夢の学校をつくる会

〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10  
TEL: 0952-22-6262  
FAX: 0952-26-4922

#### ネットワーク・テラ 春号 VOL.142

発行/認定特定非営利活動法人 地球市民の会  
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10  
ホームページ: http://tpa.nk-i.net  
E-mail: office@tpa.nk-i.net  
TEL: 0952-24-3334  
FAX: 0952-26-4922  
発行日/2011年4月25日  
発行人/佐藤昭二  
編集人/地球市民の会 事務局  
印刷/株サガブリんテイング